

広報

えりも

2013

7月号

№.896

Public Relations Erimo



えりも岬地区の三つの自治会が競いあった女性限定の玉入れ

地域が一体となった大運動会

待ちに待った運動会、練習の成果を発揮

6月16日、心地よい天候のなか、えりも岬小学校グラウンドで、小学校やえりも岬連合自治会など地域が一体となり、えりも岬連合大運動会が開かれました。

幼児からおじいちゃん・おばあちゃんまでが参加し、選手たちへ声援や歓声が飛び交っていました。

町議会 6月定例会



六月定例町議会が六月二十日に開催されました。町長からの防災・産業振興・保健福祉・建設水道に関する一般行政報告と、教育長の学校教育・社会教育に関する教育行政報告がされました。一般質問と補正予算など提出された議案については、後日発行される「議会だより」に掲載されます。

一般行政報告

防災情報の配信について

これまで、NTTドコモエヌ ティー ディー コモ一社だけに対応していた本町の緊急エリアメールは、四月一日からauエーユーとソフトバンクの二社の携帯電話等にも配信が可能となりました。

このエリアメールは、緊急時に回線が混雑する影響を受けることなく、町内に滞在している方の携帯電話に地震速報や、町からの防災情報等を配信できるようになっています。配信先の拡大によって、より多くの方々に災害情報を伝えることができるようになりました。

ひだかの魅力配信推進協議会への参加

ひだかの地域資源や歴史、観光、イベント等の情報配信を目的とした「ひだかの魅力配信推進協議会」の立

ち上げに参加しました。協議会は、日高管内七町と各地域でまちづくりを進める団体等で構成されています。

最初に手掛ける事業として、ソーシャルネットワークサービスを活用し、道内外の方々へ効果的な情報発信と効率的な情報の入手を図るためのポータルサイトを設けました。

このサイトは「日高暮らし応援ナビ」として、五月から正式運用されています。フェイスブックを利用しており、各町や地域団体からも情報発信ができるようになっていきます。

今後はサイトの周知とともに、えりもの魅力を最大限にアピールできるように活用を図っていきます。

えりも「うに祭り」

えりも漁業協同組合主催による第三回えりも「うに祭り」が四月二十七日にスポーツ公園で開催され、旬の味を求めて町内外から約三千人以上の来場者が訪れました。

当日は、肌寒い中での開催となりましたが、朝早くからウニ購入の整理券を求め、午前九時には千人を超える長蛇の列ができ、午前十時の開始時には多くの人で会場を埋めつくし、用意した殻付きウニ、むき身塩水ウニ、塩漬けウニの合わせて、千

八百パックが、ほぼ完売しました。また、ウニのほかにもツブ類やホッキ貝、榎マルデン、えりも食品（榎）の特産品も好評を博しており、漁協女性部の「ミニウニ丼」、漁協東洋青年部の「ベニズワイガニ汁」、さらには「魚々ラーメン」、「モツ鍋」など、会場内の全てのブースに行列ができて、えりもの春の味覚を堪能していました。

正午から行われた「お楽しみ餅まき大会」には、漁協直売店や出店団体の提供品、旅館宿泊券など日本の景品シールの付いた紅白の餅をまき、新たに「えりも〇×クイズ」を行い、抽選で百人がクイズに挑戦し、勝ち残った三十人が台の上に積まれたウニのつかみ取りに挑戦しました。

来年以降も春の祭として、えりも「うに祭り」を定着できるように、漁協と連携し、より一層の工夫を施し魅力を高め、本町の地域振興の活性化につなげていきます。

さくら公園への彫刻品の寄贈

北海道立庶野診療所の清水公男所長より、庶野さくら公園に彫刻品「みんなで乗る舟」の寄贈があり、五月十一日に約百人が参加して除幕式が行われました。

清水所長は「えりもに来て八年、地域の暖かい人の中で仕事ができたと感謝し、この地に在任した記念にしたい」との思いから、清水所長の学生時代からの友人で、愛知県の彫刻家杉本準一郎さんの作品を寄贈していただきました。

作品は、兵庫県の生駒御影石を使い、高さ六十センチ、長さ四尺、幅五十センチで重量は三・五トの彫刻の上にも乗ることができ、「助けあい生きることが幸せ」というメッセージが込められており、庶野漁港に向かうよう設置されています。

当日は、低温の影響からサクラはつぼみの状態で、加えて異常な寒さから訪れる人は少なめでしたが、十時からの「海の幸直売会deしよや」では、漁協庶野支所職員による前浜で採れたウニ、ホッキ貝、トウダイツブや水産加工食品、漁協庶野女性部のメヌケ汁とあら汁の格安販売が行われるなか、十一時より除幕式が行われました。

その後、杉本さんの知人で、ネパール出身でシタール奏者のサワン・ジョシさんと三味線奏者の佐々泰子さんの演奏会が行われ、最後に「さくらさくら」を合奏し、シタールと三味線の音色に聴き入っていました。



庶野さくら公園で行われた彫刻作品除幕式

子育て世帯支援

本年度新たに、子育て世帯の負担軽減と児童福祉の向上、また、町内商店の利用促進を図る目的で「すこやか赤ちゃん誕生祝金」と「子育て世帯医療費支援事業」を開始しました。

「すこやか赤ちゃん誕生祝金」は、出生一人につき三万円相当の現金または町内の指定店で利用可能な商品券、「子育て世帯医療費支援事業」については、中学生までのお子さんの一か月毎の医療費相当分を同様の商品券にて交付し、五月末現在で「す

こやか赤ちゃん誕生祝金」は九世帯、「子育て世帯医療費支援事業」は六十四世帯の方から申請がありました。今後も、事業・制度の周知を図るとともに、商品券の利用可能な商店の拡大に努めていきます。

建設事業の発注

平成二十五年六月一日現在の建設事業発注状況は、土木工事では、コップ通り線局改良工事他三件、建築工事では、えりも高校野球場タックアウト改修工事他一件、水道工事では、国道三三六号大和防雪対策工事に伴う配水管移設工事、委託業務では、東部送水管更新工事実施設計委託業務他三件となっています。

教育行政報告

人事異動

本年度の教職員の人事異動は、小・中・高合わせて、転出と退職で二十人、転入は期限付き採用を含めて十七人でした。

学校経営

小・中・高における教務主任を始

めとする各主任の命課は、四月五日までにすべて終えています。

また、学校評議員は、本年度も二十七人を委嘱しました。

フッ化物洗口の実施

児童にかかわる歯の健康づくりの推進を図るため、むし歯予防に高い効果がある「フッ化物洗口」を、本年五月から全小学校で開始しました。

この事業は、本年度の本格実施に先がけ、前年度、三小学校で試行実施されたもので、管内に先がけた当町の学校保健事業として、また、健康教育推進の上からも重要であると考えています。

巡回指導教員活用事業

本事業は、児童生徒の基礎学力を高めるために、教科指導において高い専門性と実践的指導力を有する教員が複数の学校を巡回し、若い先生の指導、授業づくりの支援などを行うものです。

前年度に引き続き、本年度もえりも中学校の教員一人が巡回指導教員として笛舞小学校、東洋小学校、庶野小学校を巡回指導します。

児童生徒の基礎学力の定着と若手教員の授業力の向上等を図ることから大いに成果を期待しています。

●えりも高校の入学状況等

本年度、えりも高等学校第二十七期生として四十一人に入学を許可しました。

この内、町外からは、様似町から二人が入学し、在校生と合わせ町外からの通学生は四人です。

本年度も、当校の教育活動の基本方針に基づき、少人数指導や習熟度別指導等、各教科の指導内容の充実や授業の質の向上が図れるよう、指導助言に努めていきます。

四月十九日には、保護者向けキャリア教育説明会を開催するなど、学校・課程・地域が一体となった教育活動を推進し、町民の負託に応える学校づくりを実践していきます。

●中高一貫教育の推進

中高一貫教育は、本年度も更なる発展を目指し、基礎学力の向上、キャリア教育、環境教育及び特別活動の四点を推進の柱に掲げ、それぞれのねらいの実現に向けた取り組みを進めています。

前年度に引き続き、文部科学省の「英語力によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」事業に、えりも高校が指定され拠点校となり、協力校とし

て、えりも小学校、えりも中学校を位置付け、連携を図った取り組みを行っています。

中高一貫教育の基本理念を踏まえ、生徒一人ひとりの夢と希望を実現させるため、学習指導、生徒指導等、教育活動の接続を重視し、十二年間を通して「えりもの子は、えりもでしつかりと教育して育てる」ことを合言葉に教育活動を推進していきます。

●社会教育関係団体

社会教育関係団体の各種総会を終え、新年度の事業計画に基づいて活動が行われています。

各団体が自主的に活動できるよう、各関係機関・団体と連携を図りながら、積極的に支援し推進していきます。

●高齢者スポーツ大会

スポーツを通じて健康づくりを図るとともに、参加者相互の親睦と交流を深めることを目的に、町内七チーム、二百三十人が参加し、五月二十日、町民体育館で第四十一回高齢者スポーツ大会が開催され、九競技に出場した選手たちは、身も心もハツラツとしてプレーを披露していました。



5月20日行われた高齢者スポーツ大会

●スポーツ推進指導員の委嘱

地域のスポーツ活動及び振興に努めている「スポーツ推進指導員」の改選期が本年度であり、三十八人を委嘱しました。

本年度からは、「地区スポーツ指導員」と名称を改め活動しています。

町民の健康と体力づくりを進めていく上で、地域の中心となって指導しています。

●体育施設

温水プールは四月二十八日、スポーツ公園は四月二十九日にオープンしました。五月末までの温水プール入館者は七百三十四人が利用して

います。

また、五月二日からスポーツ公園の野球場とテニスコートの夜間照明が使用できるようになりました。

●郷土資料館事業

五月四日、えりも岬先端展望台でゼニガタアザラシ観察会を行いました。約二時間で百五十人ほどの観光客にゼニガタアザラシと岬の自然や、サケ定置網への被害状況などについて伝えました。

五月十七日から五週連続の体験講座「陶芸スキルアップ教室」に、十七人の参加し、講師として陶芸家の佐山由紀江さんを招き、専門的な指導のもと、各自の技術向上と指導技術の習得を目指しました。

予算の補正

一般会計予算が、除雪機械購入などのため、六千七百万円追加され、四十一億二千八百万円となりました。

特別会計では、診療所特別会計が三十万円追加され、三億七千二百三十万円となり、簡易水道特別会計では七十万円追加され、一億三千七百七十万円となりました。

えりも岬の緑化事業 後世まで伝えたい森と海の大切さ

えりも岬緑化事業六十周年記念事業

六月八日、九日の両日、襟裳岬風の館と百人浜において、えりも岬緑化事業六十周年記念事業「二〇一三森と海のフェスティバル」が開催され、二日間で延べ六百人が参加し森と海の大切さを学びました。

八日の午後から、襟裳岬風の館・風のシアターで、緑化事業の歴史の



「えりもイキイキの森」、「ふれあいの森」の協定を交わした関係者

ビデオ上映と、二つの調印式が行われました。参加者約百人が見守るなか「えりもイキイキの森」における活動の支援として、セブン・イレブン記念財団がえりも岬の緑を守る会（平野正男会長）の趣旨に賛同し、社会貢献活動として、三年間の資金協力に関する協定が締結され、同財団の増田靖士北海道地区理事と平野会長との間で調印が行われました。

また、「ふれあいの森」森林整備協定では、日高南部森林管理署（野藤昌弘署長）と同緑を守る会が誰でも植樹体験できる地域参加の協定に調印しました。

調印式終了後、小学生らによる「森林づくり体験教室」では、北海道名誉教授の東三郎先生が考案した「カミネツコン」を北の森づくりサークル会員から作り方を教わり、道道襟裳公園線沿いの苗木設置体験会場でハンノキなど二百本を植えました。



クロマツの苗木を植える参加者

続いて、自然豊かなえりも海岸林の散策が日高南部森林管理署の職員の説明を聞きながら行われました。

翌九日、晴天にも恵ま

れ、一石一字塔横の百人浜駐車場が会場となり、地元住民を含む五百人ほどが参加し、日高南部森林管理署えりも治山事業所の佐藤可菜治山技術官から、植樹の指導を受けた後、百人浜展望台付近の植樹会場へ移動し、防



マツカワの稚魚を放流

本ゆめwith蓮華の四人が「襟裳岬」など五曲を優雅に演奏しました。参加者は、太鼓や二胡の音色を真剣に聴いていました。

風柵で囲まれた四、七〇〇平方メートルの草地にクロマツの苗木二、二五六本を、参加者は一本一本丁寧に植えました。その後、小学生らは百人浜の海岸へ移動し、栽培漁業えりもセンターで飼育したマツカワの稚魚二、〇〇〇尾を放流しました。

植樹・マツカワの放流が終わった後、参加者らは、セブン・イレブンから提供された「おにぎり」と入山佐水産「漁師の三平汁」を食べながら、会場ステージで披露されたえりも岬小学校児童による同校伝統の「荒波太鼓」などを勇壮に打ち鳴らし、中国の楽器である二胡を福

町民の代表が決まりました!!

投票所別投票者数・投票率

(単位：人、%)

投票所	有権者数	投票者数	投票率
近浦多目的集会施設	140	105	75.00
笛舞ふれあい館	240	164	68.33
西えりも生活館	785	443	56.43
福祉センター	1,259	590	46.86
歌別生活館	288	210	72.92
東洋生活館	388	238	61.34
林業総合センター	390	299	76.67
庶野生活館	569	423	74.34
目黒生活館	149	108	72.48
期日前投票		956	
合計	4,208	3,536	84.03
有効投票	無効投票	投票総数	
3,508票	28票	3,536票	

十八年ぶりの町長選挙

任期満了に伴うえりも町長選挙は五月二十一日に告示されました。

この選挙には、三選をめざす現職の岩本溥叙氏と新人で前町議会議員の吉田和正氏が立候補し、平成七年十一月以来、十八年ぶりにえりも町長選挙が行われました。

投票は、五月二十六日午前七時から午後七時まで、町内九の投票所で行われ、午後八時から福祉センターで、即日開票されま

した。

開票の結果は次のとおりです。

今回の投票率は八十四・〇三%で、前回(平成七年十一月実施)の町長選挙を九・四%下回りました。



開票結果	
当 岩本 溥叙	1,893票
吉田 和正	1,615票

町議会議員補欠選挙の結果

一人が欠員となり行われた、えりも町議会議員補欠選挙は、新人で漁業の近藤一郎氏以外に、立候補の届出がなく、近藤氏の無投票当選が決まりました。

任期は平成二十七年四月三十日まで。



近藤一郎議員(34歳)



職員より、花束を受け取る岩本町長

町民のため…職員へ訓示

六月五日、三選を果たした岩本溥叙町長が、午前九時に庁舎玄関前で職員の出迎えを受け、選挙後初登庁しました。

岩本町長は、職員を前に「選挙戦で町民に訴えかけてきた公約の実現に向けて、最善の努力をしていくためにも、職員は町民の目線に立って、町民に利益を還元し、町民が幸せになるために、自らを犠牲にすることも止むを得ないことを考えながら、努力してほしい」と訓示。また、町内の「交通事故死ゼロ二千五百日達成(八月十三日)に向けて、努力してほしい」と挨拶しました。

第23回参議院議員通常選挙は、 平成25年7月21日（日）が投票日です

七月二十一日（日）は、第二十三回参議院議員通常選挙が行われます。

投票日当日、仕事や旅行などで投票ができない方は、期日前投票制度を利用することができます。自分の一票を無駄にすることなく、必ず投票しましょう。

◎投票できる人

・日本国民でえりも町の選挙人名簿に登録されている人

・平成五年七月二十二日以前に生まれた人（満二十歳）

・平成二十五年四月三日以前にえりも町役場に転入届を提出し、引き続き三か月以上居住している人

◎期日前投票制度

次の理由等で投票日当日に投票所に行けない人は、期日前投票を行うことができます。

・理由等

・仕事等（冠婚葬祭など）、私用（レジャー、買い物など）、病気（ケガ、妊娠などで歩行困難）

・期間

七月五日（金）～七月二十日（土）

・時間

午前八時三十分～午後八時まで

・場所

えりも町役場議員控室（役場三階）

自分の一票が大切です。

必ず投票にいきましょう！

◎不在者投票制度

病院などに入院・入所の人は、都道府県選挙管理委員会が指定した施設であればその施設で不在者投票ができます。

入院・入所中の施設へお早めにお問い合わせください。

他市町村にお住まいの方は選挙管理委員会にお申し出ください。

◎郵便等投票制度

体の不自由な方は、自宅などにおいて郵便等を利用した投票を行うことができます。この方法を利用できる人は、次のような人です。

①身体障害者手帳の交付を受けている人

・両下肢、体幹、移動機能↓一級・二級

・心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸↓一級・三級

・免疫、肝臓↓一級～三級

②障がい の程度について、知事が書面によって証明した場合

③介護保険上の要介護状態区分が要介護五である人

※郵便請求期限が限られていますので、お早めに選挙管理委員会までお問い合わせください。

◎入場券は忘れずに

投票に必要なものは「入場券」です。入場券には投票所名や投票時間が記載されていますので、あらかじめご確認ください。

万が一忘れたり、紛失したりした場合でも投票はできますので、係員にお申し出ください。

◎選挙当日の投票できる時間

選挙当日の投票時間は「午前七時から午後七時まで」です。

▼お問い合わせ先

えりも町選挙管理委員会

☎二・二一一二



後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 被保険者証と限度額適用・標準負担額減額認定書（以下減額認定証）の一斉更新について ～
※75歳以上の方（65歳から74歳で一定の障がいがある方）が対象です

◆ 保険証と減額認定証が新しくなります。

現在ご使用の保険証等の有効期限が平成25年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。また、有効期限が1年間になり、毎年更新することになりました。

7月中旬に新しい保険証等の更新を役場窓口・各地区の生活館で行いますので、必ず更新を行って下さい。

新しい保険証の色は黄色からピンク色、減額認定証はオレンジ色から水色になります

○有効期限は、平成26年7月31日までです。

○紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、役場保健福祉課医療給付係までお申し出ください。

※減額認定証に該当する方は次のとおりです

減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	・世帯全員が住民税非課税である方
区分Ⅰ	世帯全員が住民非課税である方のうち、 次のいずれかに該当する方
	・世帯全員の所得が0円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方)
	・老齢福祉年金を受給されている方

◆医療費通知の発行を希望される方へ

被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付します。

なお、次回の発行は、9月（平成25年1月～6月の医療費を対象）に行います。

●新たに発行を希望の方はご連絡ください

新たに発行を希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合又は、役場保健福祉課医療給付係までご連絡ください。

○すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方には、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。

※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062

札幌市中央区南2条西14丁目
国保開館6階

☎011-290-5601

お住まいの市町村

役場保健福祉課医療給付係
☎2-4622



国民健康保険の加入者で交通事故や傷害事件などで保険証を使いたい場合

交通事故や傷害事件など、加害者（第三者）から傷害を受けた場合には、損害賠償として加害者が被害者の治療費を負担するのが原則です。

しかし、必要に応じて国民健康保険で治療を受けることも可能です。この場合、えりも町国民健康保険で一時的に医療費を立て替え、後で加害者に国民健康保険が負担した費用を請求します。このため、必ず事前にえりも町役場保健福祉課医療給付係までご連絡ください。

1. 手続きに必要なもの

- (1) 国民健康保険証
- (2) 印鑑
- (3) 第三者行為による被害届（保健福祉課医療給付係に用意してあります）
- (4) 交通事故証明書の原本（交通事故の場合のみ）

2. 提出先

えりも町役場保健福祉課医療給付係（☎2-4622）



気象台からの 防災メモ

6

—台風—

赤道付近の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち日本の南で発達して最大風速が約17m/s以上になったものを「台風」と呼びます。台風によって引き起こされる災害には、暴風、大雨、洪水、高潮、高波などがありますが、これらは単独で発生するだけではなく、複合して発生し大きな被害となることがあります。平成15年8月には、北海道付近に前線が停滞する中で台風第10号が北海道に上陸して、日高地方を中心に記録的な大雨となりました。この影響でがけ崩れや河川のはん濫が発生し、6人の方が亡くなるなど、大きな災害が発生しています。

気象台では、重大な災害の発生するおそれがあるときは、「警報」などの防災気象情報を発表します。特に台風の接近が予想されるときは、増水した河川、がけ崩れの危険のある場所、高波が打ち寄せる海岸など、危険な場所には絶対近づかないようにするとともに、

風による飛散物や倒木などにも警戒してください。

また、避難場所を確認しておくなどの準備も重要です。



●お問い合わせ先

室蘭地方気象台防災業務課（☎0143-22-4249）

建設工事等入札（5月分）

えりも町で行った建設工事等の入札結果をお知らせします。

●5月1日入札

- 大和C団地公営住宅（No.1～No.12）解体工事
落札業者 有限会社 渋田建設

●5月16日入札

- 近浦団地5号線局部改良工事
落札業者 有限会社 岡崎建設
- 岬漁港線局部改良工事
落札業者 坂田組土建 株式会社

静内駐屯地創設記念行事

陸上自衛隊静内駐屯地では、駐屯地創設49周年記念行事を行います

●日時 7月21日 9時～14時30分

●場所 静内対空射撃場（新ひだか町）

●お問い合わせ先

陸上自衛隊静内駐屯地広報班

☎0146-44-2121



こんにちは 栄養士です

熱中症の予防

正しい知識を身につけて夏の暑さに備える

熱中症のピークは七〜九月と言われている

夏の昆布作業は炎天下の中で行われることが多いため、特に注意が必要です。体が暑さに慣れるまでには一〜二週間かかるため、活動の初日は特に注意して、のどが渇く前に水分をとるようにしましょう。また、普段から体力を落とさないように栄養と休養をしっかりとるようにしましょう。



熱中症とは？

暑い環境により体の水分が不足し、水分と塩分のバランスが崩れ、体温調節ができにくくなり死に至る危険もある病気



高齢者は特に注意が必要

熱中症患者の約半数は65歳以上が多い

「他に注意が必要な人」

乳幼児、肥満（皮下脂肪の厚い人）、持病のある人、体調の悪い人

熱中症が多発する時期は？

7〜9月が最も多い（気温28℃、湿度70%を超えると多発）

- ・ 気温、温度が高い時
 - ・ 風が弱い時
 - ・ 急に暑くなった時
 - ・ 日差し、照り返しが強いつ
- ※冷夏でも湿度が高ければ発生するため注意が必要です

室内でも注意が必要

（高温多湿、無風状態）

熱中症の3割は室内で発生している

熱中症予防のポイント

服 装

- ・ 通気性の良い物を選びましょう（黒色は避ける）
- ・ 襟元をゆるめましょう
- ・ 野外では帽子をかぶりましょう

室 内

- ・ ブラインド、カーテン等で直射日光を防ぎましょう
- ・ エアコンや扇風機を上手に使いましょう
- ・ 換気して外の涼しい空気に入れかえましょう

のどが渇いていなくてもこまめな水分補給を

- ・ 体温を計りふだんより高くなっていたら水分をとり体を冷やしましょう（水や麦茶が適している、ジュースやコーヒーは糖分が多いため水分には含まれない）
- ・ 大量に汗をかいたときは水分と共に塩分の補給も行いましょう
- ★水を飲みながら梅干し1個をとるのも効果的です
- ★スポーツドリンク：体液と同じ濃度に調整されていますが糖分が多いので飲みすぎに注意しましょう
- ※アルコールは利尿作用があり、飲んだ以上に水分が失われる可能性があるため、水分は別の物でとりましょう

7月の保健メモ

（連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630）

行 事	実施日	時 間	会 場
フッ素歯みがき教室	8日(月)、11日(木)	13:15~14:00	保健センター（個別通知）
三種混合予防接種	9日(火)	13:30~13:40	保健センター
B C G 予防接種		13:40~13:50	保健センター
四種混合予防接種		13:50~14:00	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:00~14:10	保健センター
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:10~14:20	保健センター
不活化ポリオ予防接種		14:20~14:30	保健センター
日赤巡回診療		10日(水)、24日(水)	13:30~14:30
麻しん風しん混合予防接種	16日(火)	15:30~16:00	町立診療所（要予約）
二種混合予防接種	25日(木)	14:00~16:00	庶野診療所（要予約）
二種混合予防接種	30日(火)	15:30~16:00	町立診療所（要予約）

●庶野診療所（☎4-2219）

三種混合・B C G・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合、子宮頸がんの個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜（2日前まで予約）
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院（☎0146-22-5111）

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
小児科外来にお申し込みください。

●町立診療所

麻しん風しん混合・二種混合の予防接種

前週金曜日までに保健予防係へお申し込みください。

子宮頸がん予防接種

- ①実施日……毎週月・火曜（前週金曜日まで予約）
 - ②時 間……15:30~16:00
- 保健予防係へお申し込みください。

広報紙で見る町の歩み 昭和37年

幌泉小学校舎の改築や目黒地区に電気導入など

終戦後は新憲法の定めで、地方自治体の首長と議会議員を、住民が直接選挙で選ぶことになり、行政を住民の理解と協力を得ながら進めることになりました。その方法の一つとして、市町村では広報紙を発行して、行政の現況や課題を住民に周知しています。

町では、何年頃から広報紙を発行したか、その資料が存在しないので不明ですが、現存している昭和37年からの広報紙で、町の歩みを辿ってみます。不定期発行だった広報紙が昭和37年10月から専任の広報係を置いて月刊発行になりました。

同年11月号には、表紙に平屋建て校舎が改築完成した幌泉（当時）小学校。内容は、在任中に病死した長岡隆一町長の町葬執行の様子。町内児童・生徒数調では、小学生が1,465人、中学生803

人と載っています。（ちなみに現在は、小学生293人、中学生130人）

目黒地区に北電の電気が導入されて、地域ぐるみで祝いました。幌泉小グラウンドの拡張と校舎裏の深い沢の埋め立てが、陸上自衛隊の協力で進められる様子など。

同年12月号では、表紙に短角牛の家畜市場。吉田勘之助町長の就任の言葉と、臨時町議会で、児玉儀八氏が議長に選出されたこと、和里地区に電気が導入されたことを知ることができます。



昭和37年当時のえりも小学校校舎

通行規制のお知らせ

幹線林道えりも線の改良工事（橋台二基と護岸工）を行うため、林道の一部に通行規制がかかりますのでお知らせします。

■期間

七月下旬～十二月下旬

■理由

橋台二基と護岸の改良工事を行うため。

■場所

目黒さけますふ化場付近の地点
改良工事箇所より先への通行は可能ですが、大型車両の通行は庶野市街からの「えりも線林道」を利用してください。
なお、施工中の通行においては、現場の指示に従って通行願います。

また、工事資材の積み下ろしなどで、一時的に通行止めとなる場合がありますので、ご了承願います。

■お問い合わせ先

日高振興局産業振興部林務課

☎〇一四六・二二・九三一七





麦畑を披露する西えりも老人クラブ

日頃の練習成果を披露

六月四日、第四十一回日高管内老人芸能発表大会が福祉センターで行われ、管内から約四百人が集まり、代表者は歌謡曲など三十七演技を披露。会場は声援や笑いが起こり、参加者は楽しい一日を過ごしました。

また、多年にわたり老人クラブ連合会役員の活動を行ってきた十九人へ日高管内老人クラブ連合会長より表彰され、当町では、間取政一さん、藤ヶ森淑子さん、中野ヤエさんが表彰されました。

地場産のつぶを使い

六月十三日、えりも町食生活改善推進員協議会（岩川紀枝会長）が主催するえりも産灯台つぶを使った「つぶカレー料理講習会」が行われ、町民十五人が参加しました。

岩川会長は「つぶの調理方法を知らない人もいるなかで、つぶを使い簡単に調理できるようなになってもらうため実施した」と話しました。

参加者は、つぶのアブラを取り除く作業を行い、レシピの順番どおりに調理し、つぶカレーを作りました。



つぶの下ごしらえをする参加者



忠霊塔に参拝する遺族

同じ過ちを 繰り返さないために

六月十六日、戦争で亡くなられた方々の英霊をしのんで「戦没者追悼式」が福祉センターで行われました。

遺族をはじめとする関係者約六十人が出席し、戦争で亡くなられた方々へのご冥福を祈り、今後、戦争の苦しみや悲しみを二度と繰り返さないためにも、平和の尊さを次世代へ伝えていくことを誓いました。

その後、参列者は祭壇に向かって拝礼し、献花をしました。

地域環境に対する 意識を高める

六月十七日、えりも中学校の二年生三十五人が、百人浜の植樹場所で、ミズナラの苗木を植樹しました。

中高一貫教育の一つとして、えりもの資源を教育資源とし、地域環境に対する意識の高揚と保持・発展に貢献できる態度を育成する目的で、毎年、この時期に行われていきます。

生徒たちは、職員の指導を受け「カミネツコン」を作り、苗木を入れ、元気に成長するように植樹を行いました。



ミズナラの苗木を植樹する生徒たち

地域貢献活動の一環として

六月十三日、日高信用金庫（高田豊則理事長）では「日高信用金庫創立九十周年地域貢献継続事業」として、庶野さくら公園にエゾヤマザクラの若木八本を寄贈しました。

この日、日高信用金庫えりも支店（長田久支店長）、岩本溥叙町長、庶野さくら保存会（佐々木則雄代表）会員を含めた十一人が参加し、エゾヤマザクラの若木を公園内に植えました。



命の大切さを知ってもらうため

五月二十三日、日高人権擁護委員協議会とえりも町が主催となり、自分の命・人の命を大切さを考えてもらうための運動として「人権の花運動」を笛舞小学校で行いました。

同協議会の山科幸一副会長より、児童たちへ花や草木などにも、かけがえのない大事な命があるように人権を守ることの大切さもあると説明し、その後、マリーゴールド二百八十本を一つ一つ丁寧に花壇へ植えました。



泳げるようになるぞ!!

六月十七日、えりも町営温水プールで小学生向けの「水泳教室」に、七十五人が参加しました。

水泳教室に初めて参加した生徒からは、まず水に慣れるための練習から始まり、バタ足の練習を行いました。また、別のクラスでは、水中に潜ったり、泳ぐための正しい姿勢を学んでいました。

生徒は、早く上達するために、指導員からの話を真剣に聞き、一生懸命に練習をしました。



高齢者事故防止を呼びかけ

六月十四日、えりもロータリークラブ（柳昌好会長）と様似ロータリークラブの会員二十二二人による高齢者事故防止キャンペーンが町内で行われました。

この日の午後、二町のクラブ会員は、灯台公園前の沿道の両脇に立ち、よく目立つ蛍光色の交通安全を呼びかけるのぼりや旗を掲げながら、道行くドライバーに高齢者による交通事故防止を呼びかけていました。





備蓄食糧などの要望が寄せられた。

まちの課題を話し合う

五月十五日、町内三十九自治会の代表者と町が話し合いを行う自治会長会議が、役場集団指導室で行われました。

町からは、四月から実施されている子育て支援制度と防災対策に関する二件が説明されました。

また、一月に開催された地区別町政懇談会での要望事項の進捗状況の報告がされました。

自治会長からは、災害時の備蓄食糧の整備や避難所の見直しなどの要望が寄せられました。

防災 情報版 ③

津波避難のきっかけ

一九九三年七月一二日二時一七分、北海道南西沖地震が発生し、道南を中心に津波による甚大な被害を及ぼしました。今月でこの災害から二〇年を迎えます。そこで今月は、最大の被災地、奥尻島青苗地区住民の避難に関する記録から、現在にも通じる津波からの避難行動について見ていきたいと思えます。

北海道南西沖地震は夜に発生したこともあり、青苗地区の六割近くの方が床についていました。しかし、地震直後に家族に避難をよびかけた人は三割強、高台に向けて避難した人は半数近くにのぼりました。地震直後に津波による被害を予想した人が約四割おり、六割の人がすぐ逃げないと間に合わないと考えたため、すばやい避難行動につながったのです。そして、その背景には、過去の津波経験がありました。北海道南西沖地震の一〇年前の一九八三年五月二六日、日本海中部地震に伴う津波により、青苗地区も大きな被害を受けました。そのため、約半数の人が日本海中部地震の経験から津波が来ると考え、約四割の人が家族の呼びかけで、約二割の人が親戚や近所の方の呼びかけがきっかけとなり、避難行動に結びつきました。一方、北海道南西沖地震の時には、津波警報の発表よりも津波第一波の到達の方が早かったため、津波警報

を聞いて避難したという人はいませんでした。

それでは、東日本大震災の時には、人々はどうのように避難を決めたのでしょうか。内閣府の資料によると、地震当日中に津波から避難した人は約八割にのぼり、揺れ具合から津波が来ると思った人が5割弱、大津波警報を見聞きした人と周囲からの呼びかけによる人が約三割、家族の呼びかけが二割強にのぼっています。現在は約三分で発表される、大津波警報の重要性がうかがえます。

いくつかの「きっかけ」があると、津波避難行動が促されやすいという指摘があります。地震を感じたときに津波が思い浮かぶこと、テレビ・ラジオや防災無線などによる情報、そして家族や周りの人の声かけや逃げる姿など。津波から助かるためには、高台への避難が不可欠です。いざという時の「きっかけ」となる知識を身につけ、自分自身が「きっかけ」となる行動がとれるように、ふだんから備えておきましょう。



定池 祐季

北海道大学大学院理学研究
院附属地震火山研究観測セ
ンター・助教、博士(文学)。
中学生の時、奥尻島で北海
道南西沖地震を経験する。
公務員、NPO勤務、「人と防
災未来センター」(神戸市)
研究員を経て2011年4月よ
り現職。

※青苗地区住民の避難に関する記録は、東京大学社会情報研究所「災害と情報」研究会、1994、「1993年北海道南西沖地震における住民の対応と災害情報の伝達」東京大学情報研究所

※東日本大震災の津波避難に関する発表

東日本大震災時の地震・津波避難に関する住民アンケート調査

http://www.bousai.go.jp/jishin/tsunami/hinan/pdf/20121221_chousa1_1.pdf

全道大会出場を報告

六月十八日、えりもTFC（トラック&フィールドクラブ）の選手が町長へ表敬訪問し、これまでの大会成績と今後の目標を報告しました。

各種大会で全道の標準記録を突破した中村優花さん（えりも小六年、女子八十歳ハードル・女子走り幅跳び）、上野歌菜子さん（笛舞小四年、女子百歳）、能登晴子さん（笛舞小五年、女子八百歳）の三選手は、七月十四日、十五日に函館市で行われる全道陸上大会へ出場します。



左から上野さん、中村さん、能登さん

えりもMUSEUM

當世武大明神

江戸時代の慶応二年（一八六六）、場所請負人の杉浦嘉七が建立したものです。

「トセツプだいまようじん」と読みます。黄金道路の手前に広がるコンプ干場があり、

その広尾寄りにある石碑です。

「トセツプ」とは、アイヌ語の「トシセプ」が原語で、「突き出ている・もの」という意味で、小山を指します。

松浦武四郎は「トウセツプ（大岩岬、穴あり）、ここにエリモ（岬）の兄弟の神が暮らしている」と言い伝わる」と記録しています。沖から見ると、屏風のように立ちそびえる断崖、突き出ている小さな岬、背後にある丸山、ここに襟裳岬のカムイ（神）の兄弟が暮らしていると想像したのでしよう。

石碑の立つ小さな入江は、木造船での航海の時代、風待ちをした場所とも伝えられています。

元々は正面に観音開きの石扉が付いていましたが、破損したため、平成十四年に修復されました。

石碑近くの海岸線に平らな岩があり、その岩を「神様の石」と呼び、石碑を船から降ろす際、最初に置いた場所で、「神様の石に乗ったり、小便かける」と、おちんちんまがるぞ！といさめられたと言い伝えられています。



左が修復前、右が修復後の當世武大明神の石碑

水難事故防止

海や川 危険がいっぱい ご用心

短い夏を満喫するために、海や川に出かける人が多くなり、海水浴、水遊び、釣り等による水難事故が懸念されます。

海や川に出かける際には、以下のことに気をつけてください。

- ・水辺で遊んでいる子どもがいる時は、波の力で倒されたり、沖に流されたりする危険があるので、子どもの近くにおいて、目を離さないようにしましょう。

- ・海水浴場などの指定された場所ですら、自分の技量や体力を考えて泳ぎましょう。

- ・体調不良時に無理をして泳いだり、飲酒をして泳いだりすることは、命にかかわることですからやめましょう。

- ・釣りをする時は、救命胴衣を着用して安全な場所を選び、高波時の防波堤や流れの速い岸辺、滑りやすい岩場などはやめましょう。

●お問い合わせ先

浦河警察署

☎ 〇一四六・二二・〇一一〇

きれいになった公園を花で色鮮やかに!!

町青年団体連盟が花壇整備と清掃活動

6月7日、えりも町青年団体連盟（野澤秀徳会長）の会員18人が、えりも港に隣接するポートサイド小公園で花壇整備と清掃活動を行いました。

同連盟は、町内の青年団体で構成された組織で、この整備を行うことで、公園の環境美化に加え、会員の結びつきを強くすることを目的として、毎年行っています。

曇り空のこの日、仕事を調整して駆けつけた会員らは4か所の花壇とその周辺の雑草を取り除きました。

その後、マリーゴールドなどの花を

二百本植えました。

参加者は「町民のみなさんによるこんでいただければ」と語っていました。



花壇に花を植える青年団体連盟の会員

新しい本

図書室だより

《一般書》

- ハダカ的美奈子／林下美奈子
- ぐうたら節約術／荻原博子
- 小学校の「理科」を良問ベスト60で完全攻略／新牧賢三郎
- 本の知識 本に関心のあるすべての人へ／日本エディタースクール
- 遺体 震災、津波の果てに／石井光太
- 桜ほうさら／宮部みゆき
- ちょうちんそで／江國香織

■ガソリン生活／伊坂幸太郎

《児童書》

- ねこの手かしますーかいとうゼロのまきー／内田麟太郎
- ルルとララのにこにこクリーム／あんびるやすこ
- まじょ子は恋のキューピット／藤 真知子

■おべんとどうぞ／真木文絵

- ぱっくんおおかみとおばけたち／木村泰子
- ぱっくんおおかみときょうりゅうたち／木村泰子
- ひめちゃんひめ／尾沼まりこ
- おちゃのじかん／土橋とし子

《おすすめ本》



ビッグデイの流儀

林下清志 著

テレビで大人気の著者初の書籍。大家族で暮らす主人公の豪放磊落な生き方、子育て、仕事論、家族愛等の思いが込められた一冊です。

子育てテレホンサービス ☎2-3715

- 7/12～ 7/18 「物を大切に」育て方
- 7/19～ 7/25 「社会規範」について考えてみる
- 7/26～ 8/ 1 善悪の区別ができる
- 8/ 2～ 8/ 8 「親の育児責任」について考える

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

行事のお知らせ

少年の主張日高大会

—いま、中学生たちが
考えていること、感じていること—

各町を代表する中学生が集まり、自分達の思いを熱く語ります。

日時 7月13日(土) 14時～

場所 日高合同庁舎(日高振興局)4階講堂
※昨年度、えりも中学校の意見主張大会で、最優秀賞を受賞した村田明日佳さん(えりも中学校3年)が、えりも町の代表として発表します。
※歌って、踊るパフォーマーのJOJO Family Kidsのアトラクションもあります。

夏休みラジオ体操会

今年も、えりも町市街地青少年育成協会が主催する夏休みラジオ体操会を行います。

日時 平成25年7月26日(金)～8月8日(木)

場所 えりも町福祉センター前

内容 朝6時30分からのNHKラジオ放送にあわせて行います。

第1と第2を行います。(雨天時中止)

※申込は不要です。当日、福祉センター前に来てください。

※ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

親子盆踊り会と子どもお楽しみ会

今年も下記の日程で開催します。

食べ物や飲み物が買えるお店も出ます!

親子そろってお楽しみください!

日時 平成25年8月9日(金)、10日(土)
18時30分～20時00分(雨天中止)

場所 灯台公園

内容 盆踊り(子ども盆踊り唄、北海盆唄)
※出店(祭本舗風舞、Cafe Soda)
※日によって出店団体が変わります。



お問い合わせ先

えりも町教育委員会社会教育課社会教育係
担当: 鍵谷 尊徳

☎2-2526(福祉センター内)

文藝えりも23号の作品応募について

あなたの文藝作品を掲載しませんか?

趣 向

町民自らが文藝作品の資質向上を図るとともに、
文藝誌の発行により、地域文化の向上と意欲の高揚を図る。

主 催 えりも町文化協会

後 援 えりも町教育委員会

公 募 平成25年11月29日(金)

応募資格 町内在住の方とし、年齢は問いません。

募集部門 部門及び応募規定は次のとおりです。

- (1)随 筆…400文字詰原稿用紙5枚まで
- (2)小 説…400文字詰原稿用紙30枚まで
- (3)俳 句…1人7句まで
- (4)川 柳…1人7句まで
- (5)短 歌…1人7首まで
- (6) 詩 …1人30行まで
- (7)その他…1人25枚まで(紀行文など)

応募点数

1部門1点とし、複数の部門へ応募できます。

応募方法

- (1)全部門とも自由題です。
- (2)応募作品は、黒インク又は黒ボールペンを使い、楷書ではっきり丁寧に書いてください。
- (3)原稿用紙は、市販の400字詰を使用してください。
- (4)ワープロ原稿可。ただしその場合は、400字詰に換算し、また、俳句・川柳・短歌・詩は原稿用紙1枚におさめてください。
- (5)応募作品は、各部門ごとに定められた枚数、首数句数等を超えないでください。(題名、作品名は除きます)
- (6)応募作品末尾には、必ず応募部門、氏名、電話番号を明記してください。(ペンネームの場合は、本名をカッコ書きしてください。
- (7)いったん提出した作品は、変更あるいは訂正加筆を認められないので、ご注意ください。

作品送付・お問い合わせ先

〒058-0204

えりも町字本町357番地(福祉センター)

えりも町文化協会事務局まで

(えりも町教育委員会社会教育課 ☎2-2526)

※直接持参されても構いません。

そ の 他

- ・応募作品は返却しませんので、ご了承ください。
- ・応募作品は「文藝えりも」第23号として、3月発行予定です。

お知らせ



自衛官を募集しています

防衛省では、次のとおり各種自衛官の募集をしています。

募集種目	資格	受付期限
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	9/6
自衛官候補生 (男)		通年
自衛官候補生 (女)		9/6
航空学生	卒(見込)21歳未満の者	9/6

※右記以外にも、指揮官・研究者を目指す「防衛大学校学生」コース、ナースを目指す「防衛医科大学校・看護学科学生」コース、医師を目指す「防衛医科大学校・医学科」コース

ス等も募集します。

●お問い合わせ先・申込先

自衛隊札幌地方協力本部

静内地域事務所

☎〇一四六―四四―二八五五

町職員採用資格試験

日高管内の各町一般事務職員(初級・上級)採用資格試験を、つぎのとおり予定しています。

●受付期間 七月八日～八月二日

●試験日 九月二十二日

●場所 新ひだか町公民館

●お問い合わせ先

役場総務課職員厚生係

☎二二二―二一

不正軽油防止強化月間

七月は「不正軽油防止強化月間」です。不正軽油とは、軽油引取税を脱税するために、軽油に灯油や重油を混ぜたものや重油に薬品を混ぜて脱色したものなどをいいます。

灯油や重油をトラックなどの燃料に使っているなどの情報がありましたら、連絡をお願いします。

●不正軽油ストッパー〇番

☎〇八〇〇―八〇〇二―一一〇

FAX〇一一―二三二―三七九八

Eメール somuzeimu1@pref.hokkaido.jp

okkaido.jp

●お問い合わせ先

日高振興局地域政策部税務課

☎〇一四六―二二―九〇六二

障がい者相談支援事業所

「ついで」の巡回相談

障がい者相談支援事業所「ついで」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に一度、役場保健センターで巡回相談を行っています。

一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

●七月の巡回相談日時

七月十六日 十時～正午

●お問い合わせ先

〒〇五七・〇〇三二

浦河町向が丘西二丁目五六八・六六

☎〇一四六―二二―六二四六

(FAX兼用)

Eメール

nizu@u-kouyouden.jp

新規学校卒業予定者を対象とする求人申込について

ハローワークでは、平成二十六年三月新規学校卒業予定者に係る求人受付を六月二十日から開始してい



ささきはるま
佐々木悠菜くん
(信一・真由美)
H24.7.15生(新浜)

音楽がかかると体を動かす、元気いっぱいの子です。



しらしいな
白石にこ菜ちゃん
(和義・知温)
H24.7.12生(本町)

好奇心いっぱいの甘えん坊。いつも笑顔に癒されています。



ささきまひる
佐々木茉日ちゃん
(淳・祐果)
H24.7.12生(新浜)

家族の中で一番の食いしん坊です。トマトがお気に入りです。



はしもとりりか
梶本梨花ちゃん
(維広・みゆき)
H24.7.4生(本町)

兄ちゃん達との激しい遊びが大好きな、女の子です♡

あつまれ！一歳児



すくのび

「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。

弁護士相談センター無料相談 (事前予約制)

会場	日程	時間
えりも相談所 (保健センター)	7月16日	13:15 ~ 16:15
様似相談所	8月13日	
浦河相談所	8月6日	
静内相談所	7月17日・22日・24日・29日・31日・ 8月5日・7日	13:30 ~ 16:30
予約受付	月曜日～金曜日 / 10:00～16:00 ☎0146-42-8373	

ます。
今年度も就職希望者の多くが地元での就職を希望しています。
厳しい経済・雇用情勢が続いておりませんが、一人でも多くの若者が地元就職し、地域経済・社会の活性化が図られますよう、早期に採用計画を決定いただき、求人のお申込をお願いいたします。

●お申込・お問い合わせ先

ハローワークうらかわ

☎〇一四六・二二一・三〇三六

ハローワークしずない

☎〇一四六・四二一・一七三四

鯉のぼり寄付のお願い

昨年、およそ十年ぶりに再開したアベヤキ川の風物詩であった鯉のぼりの川渡しですが、雨風により鯉のぼりが傷んでしまうため、漁協近笛青年部では、鯉のぼりの寄付を募っています。ご家庭で、使用していない鯉のぼりがありましたら、漁協近

笛事業所(☎二・二〇二七)まで、連絡をお願いします。

住宅改修工事補助事業

えりも町住宅改修工事等補助事業の予算が残り三百二十四万七千円(六月十七日現在)となりました。工事の予定のある方は、お早めにご相談ください。

●お問い合わせ先

建設水道課建築管財係

☎二・二一一四



ふらここにミサイル一瞬よぎりけり 佐々木蓉子
春泥の中にたたずむ牛の群 佐々木凌子
风光るあざらし育つえりも岬 曾田つゆ子
身の裡に軋む音して春の風邪 鈴木周子
轉りに包まれている社かな 手塚澄子
磯しぶき古船にとどき岬芽吹ぶく 小山内栄峰

(えりも吟社)

♥ご厚志に感謝します

- 村中保子さん(歌別) 二万円
- 歌別第三自治会へ 二万円
- 佃里美さん(目黒) 三万円
- 目黒自治会へ 三万円
- 大山靖幸さん(新浜) 五万円
- 新浜自治会へ 三万円
- 新浜老人クラブへ 三万円
- 井上ナカ子さん(庶野) 三万円
- 美島自治会へ 三万円
- デイサービスセンターへ 三万円
- えりも漁協庶野女性部 やまと苑へ タオル、洗剤等
- ★社協のボランティアセンターへ
 - 大山靖幸さん(新浜) 三万円
 - 井上ナカ子さん(庶野) 三万円

2つのサマーで
ワッショイ! ワッショイ!
5億円
2000万
サマー
450本
7月10日(水) 同時発売 発売期間:7月10日(水)~8月2日(金)
発売人: 日本放送協会

人のうとぎ

(平成25年5月31日現在)

近浦	174人	68世帯
笛舞	284人	114世帯
大和	974人	428世帯
本町	912人	404世帯
新浜	713人	308世帯
歌別	353人	132世帯
東洋	397人	132世帯
えりも岬	547人	205世帯
庶野	722人	275世帯
目黒	157人	76世帯
合計	5,233人	2,142世帯
(男 2,612人 女 2,621人)		
転入	5人	転出 13人
出生	7人	死亡 5人

税の納期

- ◆固定資産税 第2期
(納期限 平成25年7月31日)
- ◆国民健康保険税 第1期
(納期限 平成25年7月31日)



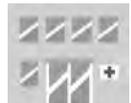
もう数日後には、昆布採りが始まります。(えりも岬の昆布干場)

町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分



		月	火	水	木	金
		7/1	7/2	7/3	7/4	7/5
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	午前のみ
		7/8	7/9	7/10	7/11	7/12
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	休診
		7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
町立	内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
	外科		○(代診)	午前のみ(代診)	午前のみ(代診)	○(代診)
庶野診			○	○	○	○
		7/22	7/23	7/24	7/25	7/26
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○
		7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○

○印は午前・午後とも診察

町立
診療所

①7/16～19の外科は、医師学会出席のため代替医師となります。

庶野
診療所

②7/5は午後から休診です。
③7/12は休診です。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

7月の行事

29日	20日	17日	15日	13日	10日	8日	6日
金	初心者のテニス教室(スポーツ公園テニスコート・19時～・8月2日までの月、水)	自然観察会「百人浜」夜の自然観察(百人浜/19時30分)	えりも高校生「高校生がふえ」(風の館・10時～・28日10時)	えりも町民無料開放(風の館/9時)	第26回えりも高等学校祭(えりも高校/10時～・14日は13時15分、行灯行列・パフォーマンス16時50分)	ムカイイマコ「流木アート展」(風の館/9時～・8月4日まで)	中央保育所運動会(中央保育所グラウンド/9時)
		運動免許更新講習(福祉センター/優良13時～13時30分・違反14時～16時)		テント検問(旧ドライブイン銀・14時)	夏の交通安全運動週間(19日まで)	イト小公園/7時30分)	

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成25年7月2日